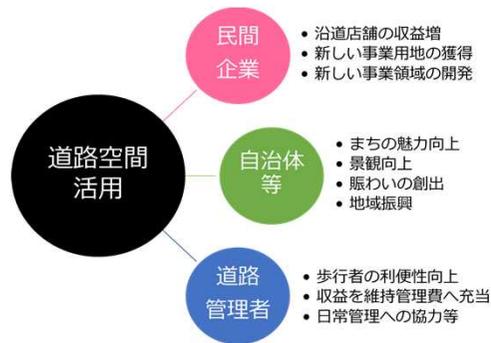
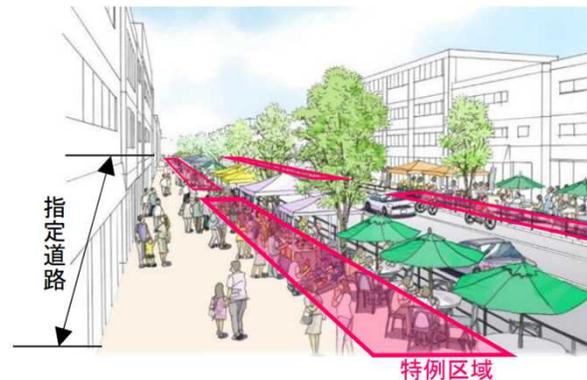


# 道路空間活用を日常の景色に ～道路空間活用勉強会における議論から～

- 車中心の道路から人中心の道路への転換、道路空間を活用した賑わい創出のニーズが増大  
⇒歩行者利便増進道路（ほこみち）制度の創設（2020年11月）
- 一方で、関係機関協議の難しさや、事業実施にあたっての採算性の確保など、実現に向けた課題は多い。
- 道路空間活用勉強会※では、官民のメンバーの実務経験を踏まえ、現場に寄り添った課題解決方策を検討。



道路空間活用を望むも、それぞれの立場によりその目的は様々



歩行者利便増進道路（ほこみち）のイメージ



道路空間を活用したマーケットの社会実験（国道20号バスタ新宿前）

## 道路空間活用実現のためのポイント

勉強会における議論や事例インタビューの結果等から、実現に向けた課題・ポイントを整理。（詳細は本文へ）

### ◆制度運用上の課題

- ✓ 警察協議（道路使用許可）
- ✓ 屋外広告物条例との調整
- ✓ 道路空間のしつらえ（歩行者利便増進施設）

### ◆官民連携により取り組む上での課題

- ✓ 事業者による企画提案のタイミング
- ✓ 収益と維持管理費への還元のバランス

### ◆その他の官民連携の取組の課題

- ✓ 社会実験の活用
- ✓ 取組をすすめる組織のあり方

※道路空間活用勉強会：官民の有志メンバーによる勉強会。令和2年10月から令和3年6月現在まで10回に渡りオンライン形式にて開催している。